

2021 やまがた県政の動き



山 形 県

表 紙 写 真

「山形県・山形市『緊急事態宣言』に係る共同記者会見」(2021.3.22 左上)

「新型コロナワクチン大規模接種事業合同発表」(2021.7.7 右上)

「東京 2020 オリンピック聖火リレー セレブレーション」(2021.6.6 左中)

「『やまがた紅王(べにおう)』ロゴマーク発表」(2021.6.2 右中)

「『スタートアップステーション・ジョージ山形』オープニングセレモニー」(2021.11.18 左下)

「東北中央自動車道『村山本飯田 IC～大石田村山 IC』間開通式」(2021.12.11 右下)

2021 山形県の動き 出来事一覧

1月

- 7日 山形県知事選挙告示 立候補者確定(大内理加氏、吉村美栄子氏)
- 8日 県は、「山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部」第19回本部員会議(以下、「新型コロナ 本部員会議」という)を開催 政府が首都圏を対象に緊急事態宣言を発令したことを受け、県の観光キャンペーンの一時停止期間の延長等を決定
- 9日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 政府の臨時交付金や持続化給付金の必要性等について発言
- 12日 山形市を中心に形成する村山地域の「山形連携中枢都市圏」(6市6町)に、新たに尾花沢市と大石田町が加入するため、山形市内で市長らが締結式を開催 同都市圏は村山地域全体の14市町に拡大
- 19日 県は、新型コロナ第20回本部員会議を開催 ワクチン接種を円滑に実施するため、「山形県新型コロナワクチン接種総合本部」の設置について決定し、同日設置
- 24日 **山形県知事選挙の投開票が行われ、吉村美栄子氏が当選し4選 得票総数: 吉村美栄子氏 400,374票、大内理加氏 169,081票 投票率: 62.94%**
- 24日 山形県議会議員補欠選挙(山形市選挙区)で梅津庸成氏が初当選
- 24日 県は、新型コロナ第21回本部員会議を開催 感染状況が比較的落ち着いていることを踏まえ、県の観光キャンペーンを県民限定とするなど一部条件付きで1月26日から再開すること等を決定
- 28日 吉村知事と山形大学医学部の上野医学部長、山形大学医学部附属病院の佐藤病院長が合同記者会見を行い、肝がんの「年齢調整罹患率」と「75歳未満年齢調整死亡率」で山形県が全国1位(都道府県で最小)になったことを発表
- 29日 国土交通省が、令和2年7月豪雨で甚大な被害が発生した最上川流域において、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」に着手することを発表 政府、県、市町村が連携し、令和2～11年度の10年間で、全体事業費約656億円をかけて治水対策を推進

2月

- 1日 県は、新型コロナのワクチン接種に関して、医療従事者等への優先接種や市町村との総合調整に対応するため、健康福祉部に「新型コロナワクチン接種総合企画課」を新設

- 5日 知事は、今冬の大雪が県内自治体の道路除排雪費を圧迫していることを受け、県市長会、県町村会と合同で、鳩山二郎国土交通大臣政務官に対して政府の財政支援を求める緊急要望を実施
- 5日 日本ジオパーク委員会は、「鳥海山・飛島ジオパーク」(秋田県にかほ市、由利本荘市、山形県酒田市、遊佐町)を「日本ジオパーク」として再認定
- 6日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 ワクチン接種の運用や観光産業への支援等について発言
- 13日 2月13日23時8分福島県沖を震源とする地震が発生(マグニチュード7.3) 県内では、米沢市、上山市、中山町、白鷹町で震度5弱を観測 知事を本部長とする災害対策本部を直ちに設置し、災害対策本部員会議を開催 人的被害は軽症者1名
- 16日 令和3年度一般会計当初予算案を県議会に内示 一般会計の総額は6,823億円(前年度当初予算比11.2%増)
- 17日 県は、新型コロナ第22回本部員会議を開催 卒業式・謝恩会等の行事などへの対応や新型コロナワクチン接種の全体計画等について決定
- 17日 県と関東学院大学が「学生 UI ターン就職促進に関する協定」を締結 両者が連携して県内企業の情報などを学生に提供し、県出身者の U ターン就職などの促進を図るもの
- 17日 パレスグランデール(山形市)で、「山形『つや姫』『雪若丸』ブランド化戦略推進本部会議」を開催 翌年度の生産・販売戦略等について協議
- 18日 県議会2月定例会が開会(～3/18)
- 19日 農林水産省は、山形県紅花振興協議会(会長 山形県知事 吉村美栄子)が申請した「最上川流域の紅花システム～歴史と伝統がつなぐ山形の『最上紅花』」について、世界農業遺産への認定申請を承認したことを発表
- 27日 東北・北海道で初となる重粒子線がん治療装置を導入した山形大学医学部東日本重粒子センターが照射治療を開始
- 27日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 ワクチン接種や経済対策に係る要望等について発言
- 28日 令和5年の開院を目指す県立新庄病院の改築整備工事の安全祈願祭を、新庄市の建設予定地において実施

3月

- 2日 遊佐町長に時田博機氏が無投票で4選
- 4日 (財)日本穀物検定協会が実施する令和2年産米の食味ランキングで、県産米の「つや姫」がデビュー以来11年連続、「雪若丸」がデビュー以来3年連続、「はえぬき」が平成27年以来5年ぶり(23回目)となる最高の「特A」評価を獲得
- 5日 **新型コロナワクチンについて、県内における医療従事者等向け優先接種が山形市立病院済生館を皮切りに各医療機関で開始**

- 7日 県は、新型コロナ第23回本部員会議を開催 「山形県における新型コロナ対応の目安〔注意・警戒レベル〕」について、レベル4【特別警戒】からレベル3【警戒】に引き下げること等を決定
- 8日 県庁で、令和3年産の『つや姫』生産者認定証及び『雪若丸』生産組織登録証交付式を開催 吉村知事が各地域の生産者代表4名に認定証及び登録証を交付 併せて、令和2年度の「米づくりプロジェクト食味コンクール表彰式」を開催し、「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の各部門で知事賞を受賞した3個人に、表彰状を授与
- 9日 令和2年酒田港の取扱貨物量を公表 国際コンテナ貨物量は、輸出13,634TEU(前年比19.0%減)、輸入8,245TEU(前年比3.1%減)、輸出入合計21,879TEU(前年比13.6%減)
- 10日 県庁で令和2年度山形県卓越技能者等表彰式及び若者技能振興奨励賞授与式を開催 優秀な技能者や職業能力開発に功労のあった卓越技能者等13名、6団体及び高等学校在学中に技能検定3級に合格し、卒業後県内事業所に就職した3名に対して知事から表彰状を授与
- 11日 東日本大震災発生から10年を迎え、東日本大震災追悼・復興祈念事業を文翔館(山形市)で開催 復興への願いを込めたキャンドルを吉村知事、佐藤山形市長らが点灯
- 12日 令和3年度以降の男女共同参画やDV被害者支援を推進するうえでの指針となる「山形県男女共同参画計画」及び「山形県DV被害者支援基本計画」(いずれも令和3~7年度)の策定に関し、県男女共同参画審議会会長が知事へ答申
- 12日 農林水産省が令和元年農業産出額を発表 本県は2,557億円(前年比3.1%増)と5年連続増となり、全国順位は第11位(前年12位)、東北第3位(前年3位)
- 15日 令和2年度山形県観光審議会を県庁で開催 「第2次おもてなし山形県観光計画~beyond2020~」に基づく観光振興施策の展開について意見交換
- 16日 吉村知事は、全国知事会「第2回ゼロカーボン社会構築推進プロジェクトチーム」にWeb会議で参加 「地域脱炭素ロードマップ」策定等に向けて意見交換
- 17日 県議会が、知事に対して以下の3つの政策提言を実施 ①脱炭素社会の実現に向けた取組みと異常気象に対応した防災・減災対策の推進、②持続可能な医療提供体制の構築と女性の県内定着・回帰に向けた対策の推進、③社会の変化に対応した産業競争力強化・担い手確保対策の推進
- 17日 県教育委員会の3月定例会において、米沢工業高校と米沢商業高校を統合する米沢産業高校(仮称)の教育基本計画、新庄北高校と新庄南高校を統合する新庄新高校(仮称)を盛り込んだ最上地区の高校再編整備計画を公表
- 18日 令和3年2月定例会の最終日に正副議長選挙が行われ、第34代議長に坂本貴美雄議員、第66代副議長に奥山誠治議員が選出
- 19日 県は、新型コロナ第24回本部員会議を開催 独自の緊急事態宣言を発出している宮城県等との往来を控えることや、年度末・年度始め等における会食等について県民に向けて注意喚起すること等を決定

- 19日 第7回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」を県庁で開催 新規感染者数の急増を受けた対策やワクチン接種の見通しなどについて意見交換
- 20日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 飲食業や農業に対する支援や、ワクチン接種の医師確保等について発言
- 22日 **県は、新型コロナ第 25 回本部員会議を開催 「山形県における新型コロナ対応の目安[注意・警戒レベル]」について、村山地域をレベル4【特別警戒】に、山形市をレベル5【非常事態】に引き上げること等を決定** その後、吉村知事と佐藤山形市長が共同記者会見を開催し、山形県・山形市「緊急事態宣言」を**発出(期間:3月22日～4月11日)** 県独自の緊急事態宣言及び警戒レベル5は初めて
- 23日 令和2年度「輝けやまがた若者大賞」授与式を山形県郷土館「文翔館」で開催 地域活性化に寄与する若者の優れた功績・成果または地道な取組みなどをたたえるもので、受賞3団体、1個人に賞状と記念品を贈呈
- 23日 県立河北病院内に設置した「山形県 PCR 自主検査センター」が検査を開始 感染者の濃厚接触者でなく、かつ無症状の県内居住者等を対象に検査を受付
- 24日 県は、新型コロナ第 26 回本部員会議を開催 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく営業時間短縮を山形市全域の接待を伴う飲食店及び酒類を提供する飲食店を対象に要請(期間:3月27日～4月11日、要請内容:午前5時から午後9時までの時間短縮営業)し、協力する事業者に対して「山形県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」を支給することを決定
- 24日 県と学校法人片柳学園が「学生 UI ターン就職促進に関する協定」を締結 両者が連携して県内企業の情報などを学生に提供し、県出身者の U ターン就職などの促進を図るもの
- 25日 県内における新型コロナの確認事例について、新たに49人の感染者の確認を発表 1日当たりの感染者数としてこれまでで最多 知事が臨時記者会見を開催し、改めて注意喚起
- 25日 県は、女性も力を十分に発揮し、いきいきと暮らし働ける地域経済・社会における環境整備を進めるため、「女性活躍前進懇話会」を新たに設置し、第1回会合を県庁で開催 各分野の参加者が女性の定着・回帰に向けて意見交換
- 25日 科学技術の分野で優れた研究成果を挙げた若手研究者を表彰する山形県科学技術奨励賞を発表 山形大学学術研究院の江目宏樹助教、山形県農業総合研究センター畜産研究所の小松智彦専門研究員が受賞
- 25日 県は、山形県自転車活用推進計画に掲げる自転車が安全で快適に通行できる環境の整備などの目標を定めた「山形県自転車ネットワーク計画」を策定 最上川に沿って置賜から庄内までを通る基幹ルート及び 17 の地域ルート設定
- 26日 文部科学省は、山居倉庫(酒田市)を国指定史跡にすることを告示 県内の国指定史跡は 30 件目

- 27日 県は、新型コロナ第27回本部員会議を開催「山形県における新型コロナ対応の目安〔注意・警戒レベル〕」について、新たに寒河江市をレベル5【非常事態】に引き上げ、寒河江市を対象に、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく営業時間短縮要請(対象:寒河江市全域の接待を伴う飲食店及び酒類を提供する飲食店、期間:3月30日～4月11日、要請内容:午前5時から午後9時までの時間短縮営業、協力事業者に対しては「山形県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」を支給)を含む、県独自の緊急事態宣言を発出(4月11日まで)することを決定。その後、吉村知事と佐藤寒河江市長が共同記者会見を開催
- 27日 山形市全域を対象とする、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく営業時間短縮の協力要請が開始(期間:3月27日～4月11日)
- 29日 県庁で令和2年度第2回「山形県デジタル化推進本部会議」を開催「Yamagata 幸せデジタル化構想」を策定
- 29日 県庁で「ゼロカーボンやまがた推進本部会議」の初会合を開催「環境やまがた推進本部」を改組して設置「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けて、関連施策を部局横断的に推進
- 29日 新型コロナワクチン接種に係る専門的相談体制の整備の一環として、「山形県ワクチンコールセンター」を開設
- 30日 寒河江市全域を対象とする、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく営業時間短縮の協力要請が開始(期間:3月30日～4月11日)
- 30日 国土交通省は、一般国道47号(新庄酒田道路)「戸沢立川道路」の新規事業化の決定を発表。新庄酒田道路の全線開通に向けて前進
- 30日 山形県文化財保護審議会は、県指定有形文化財の「牡丹尾長鳥堆朱盆」(上山市)が県外に転出したため、指定解除するよう答申。県指定文化財の総数は526件
- 31日 天皇皇后両陛下から、今冬期の大雪等により甚大な被害を受けた本県を含む7道県に対し、災害見舞金が出賜

4月

- 1日 東北6県の自治体、観光関係者、JR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーン「東北DC(デスティネーションキャンペーン)」が開幕。開催期間は2021年4月～9月30日で、東北6県で6か月の開催は初めて。なお、新型コロナの影響により、山形駅で開催予定だった開幕式典は中止
- 1日 企業局として初の風力発電施設となる「県営酒田風力発電所」(酒田市浜中地内)が完成し、運転開始。最大出力6,900kW(2,300kW×3基)。固定価格買取制度により売電
- 2日 令和3年度4月補正予算案を県議会に内示。新型コロナ感染拡大防止に向けた飲食店に対する営業時間短縮の協力要請に伴い、協力いただいた事業者に対する協力金支給等のための一般会計補正予算額16億600万円を計上

- 3 日 新型コロナの県内第 1001～1017 例目となる感染事例を確認 2020 年3月 31 日の県内初確認以来、感染者数は累計で 1,000 人を超過
- 4 日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 地域経済の回復に向けた財政支援等について発言
- 5 日 **吉村知事、佐藤山形市長、矢野山形商工会議所会頭、根本山形市医師会会長が県庁で共同記者会見を開催 「山形市における新型コロナウイルス感染症対策の徹底した取組みに向けた共同宣言」を発表 また、県内で新型コロナの変異株 (VOI: 注目すべき変異株)「E484K」の感染確認を発表**
- 8 日 県議会4月臨時会が開会
- 9 日 令和3年度第1回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を開催 その後、新型コロナ第 28 回本部員会議を開催し、山形市の「緊急事態宣言」を延長することを決定(延長期間:4月 12 日～25 日) 寒河江市については4月 11 日をもって宣言を解除すること等を決定 吉村知事、佐藤山形市長、佐藤寒河江市長が共同記者会見を開催
- 9 日 県は、鶴岡市内の死亡野生イノシシから豚熱が確認されたことを発表 山形県豚熱危機管理対策会議を開催し対応について協議 野生イノシシの感染確認は 2020 年 12 月に続き県内2例目(以降、2021 年 12 月までに県内 99 例を確認)
- 12 日 高齢者(65 歳以上)を対象とした、新型コロナワクチン接種が全国で始まり、県内では山形市内の介護老人保健施設等で接種を開始
- 12 日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 地域における経済対策及び感染拡大防止・医療提供体制整備のための財政支援等について発言
- 13 日 県は、観光関連産業を支援するため、県民限定の「県民泊まってお出かけキャンペーン～やまがた春旅～」の事業開始を発表 事業期間は4月 16 日から5月 31 日まで
- 18 日 県内における新型コロナの確認事例の中で、「懸念すべき変異株」とされる N501Y が確認されたことを発表 知事が臨時記者会見を開催し注意喚起
- 19 日 令和3年度4月補正予算案を県議会に説明 新型コロナ感染拡大防止に向けた飲食店に対する営業時間短縮の協力要請に伴う協力金支給及び飲食店の感染防止策強化事業等のための一般会計補正予算額 10 億 5,700 万円を計上
- 19 日 令和3年4月1日現在における県内保育所等利用待機児童が、前年に引き続きゼロ人となったことを発表
- 22 日 県議会4月臨時会が開会
- 23 日 県は、新型コロナ第 29 回本部員会議を開催 山形市を対象に発出している山形県独自の緊急事態宣言について、4月 25 日をもって解除することを決定 県内の飲食店や宿泊事業者が実施する新型コロナの感染防止対策について県が認証する「山形県新型コロナ対策認証制度」及び認証を取得するために必要な設備の購入費用の一部を支援する「山形県新・生活様式対応支援補助金」の事業実施を決定

- 24日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 県境を越えた移動自粛に関するメッセージ発信や政府の財政支援等について発言
- 26日 県は、新型コロナ第 30 回本部員会議を開催 鶴岡市における感染状況を受けて県と鶴岡市の合同要請の発出を決定 吉村知事、皆川鶴岡市長が共同記者会見を開催
- 26日 **新たに「新型コロナ対策認証課」を防災くらし安心部に設置 同日から「山形県新型コロナ対策認証基準」に基づく施設確認を開始**
- 26日 吉村知事は臨時記者会見を開催し、東北と新潟の各県知事及び仙台・新潟市長との連名で、「東北・新潟共同メッセージ」を発表し、都道府県をまたいだ不要不急の移動の自粛等を要請
- 26日 建設会館(山形市)で「山形さくらんぼブランド力強化推進協議会」を開催 さくらんぼの消費拡大や「やまがた紅王」のブランド化に向けた取組みについて協議 同日、「さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム会議」を開催 農作業の労働力確保に向けて無料アプリを活用したマッチングシステムの運用について説明
- 28日 第8回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」を Web 会議で開催 高齢者へのワクチン接種や PCR 自主検査体制の充実などについて意見交換

5月

- 7日 「令和3年春の叙勲・褒章」の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲 25 名、褒章7名、危険業務従事者叙勲8名が受章
- 10日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 ワクチンの供給や雇用調整助成金の特例措置の適用等について発言
- 10日 令和3年度市町村長会議を Web 会議で開催 新型コロナ対策や県政一般に関する諸課題について意見交換
- 11日 吉村知事は、全国知事会「国産木材活用プロジェクトチーム会議」に副リーダーとしてオンラインで参加 国産木材の需要拡大に向けた提言等について意見交換
- 12日 県は、新型コロナ第 31 回本部員会議を開催 4月 26 日からの県と鶴岡市の合同要請について5月 12 日をもって解除することを決定 吉村知事、皆川鶴岡市長が共同記者会見を開催
- 12日 県は、訪問看護の質の向上や担い手の創出など訪問看護に係る課題を総合的に解決する拠点として「山形県訪問看護総合支援センター」を新たに設置 受託者となる山形県看護協会訪問看護会館(山形市)で開所式を開催
- 12日 県や市町村、県内農業団体等で組織する「山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部」の設立総会を県庁で開催 令和3年度から5年度にかけての日本一の品質・食味を勝ち取る米づくりのための推進方針や事業計画を承認

- 13日 東北中央自動車道建設促進秋田・山形・福島三県議会協議会、日本海沿岸東北自動車道建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会(各協議会会長:坂本山形県議会議長)が、国土交通省に対してオンライン面談により要望活動を実施
- 17日 県は、令和3年度ゴールデンウィーク期間における観光客入込状況を公表 主要観光地が約29万5千人(令和元年度比約36.4%)、イベントが約2千人(同約0.4%) 新型コロナの影響によるイベントの延期等により大幅な減 令和2年度は新型コロナに伴う休業要請等のため調査を実施せず、同調査は2年ぶり
- 18日 第1回「Yamagata 未来コミュニティ座談会」を県庁及びオンラインで開催 山形県の魅力や価値を最大限に活かした「やまがた暮らし」について関係者が意見交換
- 19日 「つや姫」「雪若丸」のPRのため、県農業総合研究センター(山形市)において、吉村知事、つや姫レディ等が田植えを実施
- 20日 吉村知事と医療関係者が共同で、「新型コロナウイルスの変異株感染拡大に伴う山形県知事と医療関係者の緊急メッセージ」を発出 知事、中目医師会長、上野山形大学医学部長、森兼山形大学医学部附属病院検査部長、武田山形県病院協議会理事長が県庁で共同記者会見を開催
- 22日 県は、新型コロナ第32回本部員会議を開催 南陽市における感染状況を受けて県と南陽市の合同要請の発出等について決定 吉村知事、白岩南陽市長が共同記者会見を開催
- 24日 県工業技術センター醸造棟内(山形市)に、発酵食品の試作等を行う「発酵試作支援センター」が開所 吉村知事等が参加し、オープニングセレモニーを開催
- 26日 県と三井住友海上火災保険株式会社は、産業振興など8項目を定めた包括連携協定を締結
- 27日 県さくらんぼ作柄調査委員会は、県内主要産地48園地における令和3年産のさくらんぼの作柄調査結果を発表 収穫量の予想は9,500t、平年比68%となり、作柄は「少ない」 収穫予想が1万tを下回るのは調査公表以来初
- 29日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 農産物の生産者支援の必要性等について発言
- 31日 県は、果樹凍霜害等に関する知事と県内農業団体との意見交換会を実施 吉村知事と長澤豊JA山形中央会長らJA関係者が出席 被害状況や今後の営農継続にむけた支援等について意見交換
- 31日 吉村知事が、梅野修一国土交通省東北地方整備局長とオンラインで懇談 高規格道路等の道路網整備、最上川水系の流域治水プロジェクトの推進、酒田港の機能強化等について意見交換

6月

- 1日 「やまがた春旅」として実施している「県民泊まってお出かけキャンペーン」について、さくらんぼシーズンを迎えるにあたり、利用施設を拡充するなどの取組みを強化し、6月1日から「やまがた夏旅」として実施 事業期間を12月31日までに延長
- 1日 令和2年外国人旅行者県内受入実績調査の結果(速報値)を公表 本県の受入延人数は125,430人(前年比△67.7%、263,498人減少)と、新型コロナの影響により大幅な減少
- 1日 県庁で、令和3年度「県いじめ問題対策連絡協議会」を開催 令和2年度のいじめに関する調査結果の認知件数は、県内の小中学校・高等学校・特別支援学校(国立・私立を除く)12,341件(前年度比417件減)と発表
- 2日 県は、新型コロナ第33回本部員会議を開催 南陽市における感染状況や置賜地域の病床占有率を踏まえ県と南陽市の合同要請について延長を決定 吉村知事、白岩南陽市長が共同記者会見を開催
- 2日 県が開発した大玉サクランボ新品種「やまがた紅王(べにおう)」のロゴマークが決定し、知事が定例記者会見で発表 令和5年からの本格販売を予定
- 2日 令和3年4月に発生した凍霜及び5月に発生した降雹など度重なる気象災害によって県全体の農業生産の減退が懸念されることから、県は、市町村・JAグループと連携・協調した「凍霜害・雹害緊急対策パッケージ」を新たに講じ、同日から発動することを知事定例記者会見で発表
- 3日 県開発推進協議会の会長である知事と副会長である県議会議長が、「令和4年度政府の施策等に対する提案」に係る関係府省への提案活動をオンラインで実施 国土交通省小林政務官、農林水産省葉梨副大臣、内閣府丸川大臣(男女共同参画)、内閣府坂本大臣(地方創生・少子化対策)と意見交換
- 3日 県と酒田市は共同で、酒田港基地港湾等カーボンニュートラル連携会議を設立 基地港湾の国指定、カーボンニュートラルを見据えた企業誘致、洋上風力発電の建設と地域振興等について検討
- 4日 山形県、山形市及び山形大学医学部の三者は、新型コロナワクチン集団接種の実施に関する協定を締結し、吉村知事、佐藤山形市長、上野山形大学医学部長が山形グランドホテル(山形市)で締結式を開催 国際交流プラザ(山形市)における大規模な集団接種の開始(6/15～)について発表
- 4日 令和2年の本県の合計特殊出生率は1.41となり、前年比0.01ポイント上昇 全国順位は前年を上回る30位
- 4日 県は、伝統技能の分野で全国的にも優れた活動を行う県内事業所を表彰するため、「日本の伝統技能を継ぐやまがたの匠知事表彰」を創設し、県庁で表彰式を開催 初の受賞事業所となった株式会社モトタテ(酒田市)に対し、吉村知事が表彰状を授与

- 4日 山形県産さくらんぼのブランド力強化を図るため、県農業総合研究センター園芸農業研究所(寒河江市)等を会場に、「山形さくらんぼキックオフイベント」を開催 吉村知事、生産者らが参加し、東京都内のこども園などとオンラインで繋ぎ、画面越しの贈呈など実施
- 6日 山形県内で、東京2020オリンピック聖火リレーを開催(～7日) 6日は、西川町、寒河江市、河北町、長井市、白鷹町、高畠町、米沢市、南陽市、上山市、山形市の10市町11区間で聖火リレーを実施 聖火の到着を祝うセレブレーションは山形県総合文化芸術館(山形市)において無観客で開催され、遠藤東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長、吉村知事、坂本県議会議長等が参加 7日は、天童市、東根市、村山市、尾花沢市、新庄市、鶴岡市、遊佐町、酒田市の8市町10区間で実施 飯森山公園(酒田市)でセレブレーションを開催 2日間を通じて総勢185人が聖火リレーに参加
- 7日 山形県、山形県農業協同組合中央会、山形県社会福祉協議会の三者は、子ども食堂など子どもの居場所づくり活動が円滑に運営されることを目的として「子どもの居場所づくり活動への支援に関する相互連携協定」を締結 吉村知事、長澤JA山形中央会会長、玉木県社会福祉協議会会長が県庁で締結式
- 8日 令和3年度6月補正予算案を県議会に説明 新型コロナへの対応として、県内事業者に対する事業継続応援給付金支給及び感染拡大に備えた検査体制強化等に係る経費について一般会計補正予算額100億5,300万円を計上
- 9日 県は、山形県の子育て環境の優位性や課題等について話し合う「山形子育てしあわせトーク」を初開催 吉村知事と子育て世代の方など8人が出席し意見交換
- 9日 山形県など12県で構成する「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」のWeb会議が開催され、政府への提言を決議 吉村知事は、大学医学部の臨時定員の拡充や恒久的な措置等について発言
- 10日 県は、新型コロナ第34回本部員会議を開催 県と南陽市の合同要請について、6月10日をもって終了することを決定
- 10日 県は、山形県新型コロナワクチン接種総合本部 令和3年度第1回本部員会議を初開催 県内におけるワクチンの接種状況等について報告を行うとともに、県による大規模接種事業として、山形県庁を会場とする大規模接種の実施について決定
- 10日 全国知事会議に吉村知事がWeb会議で参加 男女共同参画プロジェクトチームリーダーとして提言を取りまとめ また、新型コロナの教訓を踏まえた分散型社会の推進等について発言
- 10日 山形県文化財保護審議会を山形県生涯学習センターで開催 県指定文化財の候補等を審議
- 11日 第9回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」をWeb会議で開催 ワクチンの職域接種や新型コロナ対策認証制度の状況などについて意見交換

- 14日 米軍横田基地に所属する輸送機オスプレイ2機が山形空港(東根市)に予防着陸 1機は同日離陸したが、1機は整備のため同空港に駐機し6月20日に離陸
- 15日 県議会6月定例会が開会(～7/2)
- 19日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 職域接種に係る要件や、結婚・妊娠・出産の機運醸成に係る取組み等について発言
- 21日 「羽越新幹線建設促進同盟会」及び「奥羽新幹線建設促進同盟会」(会長:吉村知事)は、「羽越・奥羽新幹線関係6県合同プロジェクトチーム」の調査結果を発表 単線整備など整備手法の工夫等により費用便益比が「1」を上回り、羽越・奥羽新幹線の整備の妥当性を確認 調査は両新幹線沿線6県によるプロジェクトチーム(事務局:山形県)において平成29年度から実施
- 28日 令和3年度6月補正予算案について県議会に追加提案 県が県庁を会場に実施する予定の新型コロナワクチン大規模接種、木材価格の高騰を踏まえた県産木材の利用拡大の支援事業等に係る経費について一般会計総額1億7,300万円を計上
- 29日 令和2年度の県内の児童虐待認定件数は、733件(対前年度比114件減) 種類別では心理的虐待が最多
- 30日 国税庁は、地域の農林水産物・食品等のブランドを保護する地理的表示(GI)の対象に山形「ワイン」を登録したと発表 ワインの指定は、山梨・北海道に続く3県目 GI登録は県内で7例目 山形県ワイン酒造組合が同日記者会見を開催し、ロゴマーク等を発表

7月

- 1日 県は、今年4月以降の降雹や凍霜害に伴う農作物の被害状況を鑑み、被災農業者等からの相談に対応するため、「凍霜害・雹害による農作物等被害に関する農林水産関係相談窓口」を県庁及び4総合支庁に設置
- 5日 県は、県議会6月定例会の議決を経て、県営鳥海南工業団地の工業用地(約5ha)について鳥海南バイオマスパワー株式会社と売買契約を締結 同団地への立地は8社目
- 6日 県立最上学園における虐待事案(2021年2月公表)を受けての再発防止策検討会議を初開催 弁護士や社会福祉士などの第三者を入れた構成委員により協議
- 7日 県が実施する新型コロナワクチン大規模接種事業の実施について、協力機関である県、県医師会、山形大学医学部、県立保健医療大学、県看護協会、県薬剤師会、県病院事業局が一堂に会して合同発表 令和3年8月～9月の土日に県庁講堂で県内在住者を対象にワクチン接種を実施
- 7日 「国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点」に係る国立がん研究センター及び学校法人慶應義塾並びに山形県及び鶴岡市との協定の締結式を開催
- 8日 吉村知事が、全国知事会男女共同参画プロジェクトチームリーダーとして大隈厚生労働政務官に対し、「男女共同参画の推進に関する提言」についてオンラインで要請活動を実施

- 11日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 農業者向けの支援の充実強化や雇用調整助成金の特例措置の延長の必要性等について発言
- 14日 吉村知事が、全国知事会男女共同参画プロジェクトチームリーダーとして丸川内閣府特命大臣(男女共同参画)に対し、「男女共同参画の推進に関する提言」についてオンラインで要請活動を実施
- 16日 県と県内トヨタ関係4社は、「災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定」を締結 知事及び4社の代表取締役社長が県庁で締結式
- 17日 村山市民会館で、吉村知事や沿川自治体の首長、県選出国會議員、県議會議員、国土交通省関係者が出席して「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」着工式を開催 令和2年7月豪雨を踏まえた最上川の河川整備が本格的にスタート
- 18日 庄内町長に富樫透氏が初当選
- 20日 本県を含む高速道路のミッシングリンクを抱えた 10 県の知事が連携し、国土及び自民党に対しオンラインで要望活動を実施
- 21日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、「山形『つや姫』『雪若丸』ブランド化戦略推進本部会議」を開催 「つや姫」の令和3年産生産量は約 53,500トン、「雪若丸」は生産量約 23,600トンとすることを決定
- 22日 県内における新型コロナの確認事例の中で、県衛生研究所の遺伝子解析の結果、L452R 変異株であるデルタ株を県内で初めて確認したことを発表
- 27日 **県は、知事を本部長とする「山形県 SDGs 推進本部」を設置し、本部会議を初開催 SDGsの推進に向けた庁内の連携強化や対外的な情報発信強化等の方針を決定**
- 29日 県庁を会場に県が実施する新型コロナワクチン大規模接種事業の実施(8/7～9/26の土日)について予約受付を開始 同日中に約6千人分の予約終了
- 30日 山形県総合政策審議会を県庁で開催 「第4次山形県総合発展計画」の取組状況や今後の施策展開について審議
- 30日 令和2年度一般会計歳入歳出決算の概要を発表 歳入から歳出と繰越財源を差し引いた実質収支はこれまでで最も多い約 161 億円の黒字

8月

- 1日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 県境をまたぐ移動自粛について都道府県と政府が一体となった呼び掛けの必要性等について発言
- 1日 県内の文化施設等で鑑賞券等を購入する際に割引を行う「やまがた文化応援キャンペーン」及び県内に活動拠点を置くプロスポーツチームのホームゲームのチケット等の割引等を行う「やまがたプロスポーツ応援キャンペーン第2弾」を開始

- 2日 山形県庁で、令和3年度山形県優良建設工事等顕彰式を開催 優良建設工事施工企業13社、優良建設関連業務履行企業7社を表彰
- 6日 県は、新型コロナ第35回本部員会議を開催 県境をまたぐ不要不急の移動の自粛を求める県と市町村の共同メッセージの発出や、お盆期間における駅・空港での啓発活動の実施などを決定
- 7日 県庁を会場に県が実施する新型コロナワクチン大規模接種事業が開始(8/7～9/26の土日) 1日当たり約1千人が接種
- 11日 吉村知事が第5回「山の日」全国大会記念式典(大分県九重町)に出席 2022年に山形県の蔵王地域で開催予定の第6回大会に向けて、大会のシンボルである「山の日帽」の引継ぎに参加 佐藤山形市長、横戸上山市長も出席
- 12日 県は、新型コロナ第36回本部員会議を開催 村山地域以外の最上地域、置賜地域、庄内地域をレベル4【特別警戒】に引き上げ、県全体の「注意・警戒レベル」をレベル4【特別警戒】とすること等を決定
- 16日 県総合運動公園陸上競技場(天童市)で東京2020パラリンピック聖火フェスティバルを開催 県内の全35市町村が採火した火をひとつに集め、山形県の聖火「やまがた未来の火」とする集火式を実施
- 18日 県内における新型コロナの確認事例について、新たに51人の感染者の確認を発表 1日当たりの感染者数として最多 知事が臨時記者会見を開催し注意喚起
- 19日 県は、令和6年度に開学を目指す東北農林専門職大学(仮称)の校舎について基本設計の概要を公表
- 20日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 法整備を含め人流を抑制するための全国的な方策の必要性等について発言
- 20日 県は、新型コロナ第37回本部員会議を開催 県内の新型コロナの感染拡大状況を踏まえ、県内全域で「感染拡大防止特別集中期間(8/20～9/12)」の実施を決定 知事が臨時会見を開催し、医療提供体制の強化、県民・事業者・学校関係者への協力要請等を通じて感染拡大防止に取り組むことを発表
- 25日 新型コロナ対策に係る県・市町村緊急連絡会議をWeb会議で開催 県内の新型コロナの感染状況や「感染拡大防止特別集中期間」における取組み等について説明し意見交換実施
- 27日 第10回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」をWeb会議で開催 飲食店、観光業への支援や若者世代へのワクチン接種等について意見交換
- 31日 吉村知事は臨時会見を開催し、東北と新潟の各県知事及び仙台・新潟市長との連名で、「東北・新潟共同メッセージ」を発表し、都道府県をまたいだ不要不急の移動の中止等を要請

9月

- 1日 県内35市町村において、「保育料無償化に向けた段階的負担軽減事業」を一斉に開始

- 1 日 吉村知事は、定例記者会見で、令和6年の第 78 回国民体育大会冬季大会スキー競技会の本県開催の受託について発表
- 5 日 村山市長に志布隆夫氏が当選し3選
- 6 日 知事と在京有識者との県政懇談会を Web 会議で開催 本県とゆかりのある在京有識者9人と、新型コロナを受けた今後の施策展開等について意見交換
- 10 日 令和3年度9月補正予算案を県議会に内示 新型コロナへの対応、凍霜害・雹害への対応、諸課題への対応等について、一般会計補正予算額 210 億 800 万円を計上
- 11 日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 保育所向け感染防止策の指針の必要性等について発言
- 11 日 県は、新型コロナ第 38 回本部員会議を開催 県内の新型コロナの感染拡大状況等を踏まえ、「感染拡大防止特別集中期間」を3日間延長(8/20～9/15)すること等を決定
- 13 日 県は、「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現に向けた今後の具体的取組みを推進するため、「カーボンニュートラルやまがた推進会議」を設置し、初会合を Web 会議で開催 「アクションプラン」の骨子案について意見交換
- 13 日 洋上風力発電事業に関して、経済産業省及び国土交通省は、「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」における「促進区域」の指定に向けた「有望な区域」として、「山形県遊佐町沖」を整理したことを発表
- 14 日 県と丸勘山形青果市場は、「青果物の供給などを内容とする災害時応援協定」を締結 知事及び同社代表が県庁で締結式
- 14 日 数え年で 99 歳の白寿を迎える方への賀詞の贈呈について発表 県内の対象者は 1,027 人
- 14 日 山形県文化財保護審議会を東北芸術工科大学で開催 県指定文化財の候補等を審議
- 16 日 山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」(山形市)において令和3年度拝礼式を実施
- 17 日 県議会9月定例会が開会(～10/8)
- 21 日 「つや姫」の全国トップブランド評価の更なる向上と、デビュー4年目を迎える「雪若丸」のPRのため、吉村知事、つや姫レディ、チーム雪若丸のメンバーらが県農業総合研究センター(山形市)で「つや姫」と「雪若丸」の稲刈りを実施
- 26 日 県は、女性の県内定着・回帰につなげるため、女性も活躍できる環境づくりに向けて、「オンライン 100 人女子会」を初開催 応募で集まった 102 人が Web 会議に参加し、やまがた暮らしについて意見交換
- 30 日 「令和6年第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」について、(公財)日本スポーツ協会と文部科学省から、本県開催の決定が通知 これまでの「国民体育大会」から名称変更となる 本県での開催は「やまがた樹氷国体」以来、10 年ぶり7度目

- 1日 おいしい庄内空港が、1991年10月1日の開港から30周年を迎え、同空港（酒田市）において記念セレモニーを開催 庄内空港利用振興協議会（会長：皆川鶴岡市長）が主催し、利用者へのおもてなし等を実施 記念事業として、10/23、航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行を開催
- 2日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 オンライン診療に係る診療報酬の見直しや、米価下落対策の必要性等について発言
- 4日 令和3年度9月補正予算案について県議会に追加提案 米価下落対策緊急支援や観光需要喚起対策等に係る経費等について一般会計総額1億400万円を計上
- 4日 自治会館（山形市）で山形県「ラ・フランス」振興協議会を開催 令和3年産「ラ・フランス」の販売開始基準日を10月25日と決定
- 5日 令和2年度の本県の主要観光地における観光客入込状況を公表 新型コロナの影響により大幅な減少となり2,751万人（前年度比60.7%）
- 5日 令和3年4月に発生した凍霜及び5月に発生した降雹の被害がさらに拡大していることが判明したため、6月2日に発動した支援策を拡充・強化した「凍霜害・雹害緊急対策パッケージ2.0」を発動
- 7日 山形県紅花振興協議会（会長：吉村知事）は、「最上川流域の紅花システム～歴史と伝統がつなぐ山形の『最上紅花』～」について、国連食糧農業機関に世界農業遺産の認定を申請
- 7日 令和3年人事委員会勧告（月例給の改定なし、期末・勤勉手当の引下げは2年連続）
- 9日 県は、新型コロナ第39回本部員会議を開催 県内の新型コロナの第5波がほぼ収束したことを踏まえ、県全体の注意・警戒レベルを「レベル3【警戒】」に引き下げることを決定
- 10日 鶴岡市長に皆川治氏が当選し再選
- 13日 令和2年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を公表 県内の小中学校・高等学校・特別支援学校（国立・私立を含む）で計12,445件のいじめが認知され、前年度に比べ498件減少 千人当たりの認知件数としては全国最多
- 14日 衆議院が解散
- 15日 吉村知事は、政府の中央建設業審議会の総会にオンラインで参加 建設業界の就労環境の改善や、復興JVの位置付け等について審議
- 15日 「やまがた森林ノミクス県民会議」を Web 会議で開催 「やまがた森林ノミクス」の取り組み状況や、「やまがた緑環境税」の今後の活用方針等について協議
- 15日 「羽田発着枠政策コンテスト」による山形―羽田便2往復運航について、その期間を2023年10月まで約半年間延長することが決定

- 18日 「雪若丸」の新CM発表会をオンラインで開催 デビュー以来4年連続でイメージキャラクターをつとめる俳優の田中圭さんが登場し雪若丸の魅力をPR 関東圏や関西圏、中京圏及び県内で新CM放映を開始
- 18日 県は、本県果樹産地の方向性を議論し、抜本的な産地再生・強靱化を図るため、「果樹王国やまがた再生・強靱化協議会」を設置し、自治会館(山形市)で第1回目となる協議会を開催
- 20日 令和3年度第1回山形県地域医療対策協議会を県庁で開催 令和4年度の山形大学医学部地域枠の設定等について協議を行い、今年度と同じ8名の設定とする方針を了承
- 20日 令和3年度(令和2年6月から令和3年5月末まで)の新規就農者数が、前年に続き、昭和60年の調査開始以来、過去最多を更新する357人となったことを発表 前回調査を4人上回り、6年連続で東北最多
- 21日 山形テルサ(山形市)において令和3年度山形県戦没者追悼式を実施
- 22日 令和3年度「山形県知恵袋委員会」を県内4地域で開催 10月22日～11月4日、4総合支庁を会場に合計29名の委員と意見交換
- 22日 令和3年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰の表彰式を県庁で開催 功労者として1個人が、チャレンジ賞として1団体がそれぞれ受賞
- 22日 知事と県内農業団体との意見交換会を実施 吉村知事と折原敬一JA山形中央会会長らJA関係者が出席 施設整備に係る支援や米価下落対策、担い手の育成等について意見交換
- 25日 東京2020パラリンピック競技大会に出場した競泳の東海林大選手が知事を表敬訪問
- 26日 ボランティアで仲人活動を行う「やまがた縁結びたい」で、一定数の成婚実績があった2個人、1団体に対し吉村知事から感謝状を贈呈
- 26日 県は、県内の新型コロナの感染状況を総合的に判断し、県全体の注意・警戒レベルを「レベル2【注意】」に引き下げること等を決定 レベル2になるのは2020年11月25日以来
- 28日 山形県副知事に平山雅之氏が就任
- 31日 第49回衆議院議員総選挙 1区:遠藤利明氏、2区:鈴木憲和氏、3区:加藤鮎子氏が当選 県内の小選挙区の投票率は全国第1位の64.34%(全国平均は55.93%)

11月

- 1日 県・市町村行政懇談会をWeb会議で開催 新型コロナ対策やポストコロナ時代に向けた対応等の諸課題について意見交換
- 2日 警察庁「特別防犯対策監」を委嘱されている歌手の杉良太郎さんが特殊詐欺被害防止の啓発活動の一環として来県し、吉村知事を表敬訪問 併せて、厚生労働省から委嘱されている「健康行政特別参与」の立場として「知って、肝炎プロジェクト」についての啓発活動を実施 県庁で記者会見

- 3日 齋藤茂吉文化賞(3名、2団体)、山形県産業賞(2名、1団体)の贈呈式を合同で開催(山形市・文翔館)
- 5日 「令和3年度卓越した技能者の表彰(現代の名工)」(厚生労働大臣表彰)が発表され、本県から1名が受賞決定
- 5日 セルビアで開催されたボクシングの男子世界選手権で、岡澤セオン選手(山形市出身)が、ウェルター級で金メダルを獲得 同選手権での優勝は日本人初
- 6日 県議会は、政務活動費の不正受給事案により辞職願を提出した野川政文議員の辞職を許可
- 8日 「知事と若者の地域創生ミーティング」を川西町役場で開催(「知事と若者の地方創生ミーティング」は、7/15から11/8まで計4回実施)
- 8日 県は、新型コロナに係る「県民の皆様及び事業者の皆様へのごお願い」を見直し、県境をまたぐ移動の自粛要請や、会食における人数制限等について緩和
- 9日 第11回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」をWeb会議で開催 行動制限の緩和等について説明し、経済回復に向けた取組み等について意見交換
- 10日 県は、「高病原性鳥インフルエンザ関係課長等対策会議」を開催 秋田県横手市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されたことを受け、山形県内に「警戒レベル3」を発令
- 14日 山形県への移住促進の応援、定住・定着のサポートにつなげることを目的に、「やまがた移住者ネットワーク」が、国際交流プラザ(山形市)で設立総会を開催 山形県への移住者を中心に結成し、「ふるさと山形移住・定住センター(くらすべ山形)」に事務局を設置 県レベルの同種組織は東北初
- 15日 県は、東北と新潟の各県知事及び仙台・新潟市長等との連名で、「東北・新潟共同メッセージ」を発表し、感染防止対策をしての東北・新潟の旅を呼び掛け
- 16日 秋田市内で「北海道東北地方知事会議」を開催 吉村知事をはじめ北海道・東北各県・新潟県の知事らが出席 東日本大震災からの復興、ポストコロナに向けた活力ある地方の実現の2テーマで意見交換 国への提言として計14項目の提言を採択
- 16日 「女性活躍推進に向けた北海道・東北地方・新潟県知事共同宣言～輝く女性ほくとう宣言～」を発表
- 16日 真室川町長に新田隆治氏が無投票で再選
- 18日 県は、県内におけるスタートアップ支援の拠点として、山形市の霞城セントラル2階に「スタートアップステーション・ジョージ山形」を開設 山形県企業振興公社が運営を行い、県の支援によるコワーキングスペースの設置は東北初 吉村知事が参加し、オープニングセレモニー・セミナーを開催
- 18日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」の促進大会を開催 奥羽新幹線実現を見据えた福島～米沢間のトンネル整備の早期事業化などの要望事項を掲げた大会決議を採択

- 19日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で「令和3年度やまがたNPO活動促進大会」を開催 やまがた社会貢献基金助成事業成果報告会及びやまがた公益対象受賞団体活動発表などを開催
- 19日 県内の料亭や料理店での食事やテイクアウトの際に利用できる「やまがた文化応援キャンペーン『やまがた料亭クーポン』」の利用開始
- 19日 国の文化審議会は、上山市の「旧梅津歯科医院診療棟」など6件を登録有形文化財(建造物)に指定するよう答申 県内の重要文化財の登録件数は189件
- 21日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 ワクチンの3回目接種や原油価格の高騰対策等について発言
- 23日 県民の森(山辺町など)、遊学の森(金山町)、源流の森(飯豊町)及び眺望の森(酒田市)の4つの県民の森が連携の覚書を締結し、山形国際交流プラザ(山形市)で締結式を開催
- 23日 吉村知事が右足首骨折のため入院
- 24日 「令和3年秋の叙勲・褒章」の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲27名、褒章7名、危険業務従事者叙勲7名が受章
- 24日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、令和3年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞表彰式を開催 大高根農場記念山形県農業賞は6名、2団体、川村造林記念山形県林業賞は2名、山形県水産業賞は1名、1団体が、それぞれ受賞
- 25日 山形グランドホテル(山形市)で令和3年度山形県教育功労者表彰式を開催 学校教育、社会教育、体育・スポーツ、芸術文化の4分野で13人を表彰
- 26日 都道府県会館(東京都)で全国知事会議開催に引き続き、総理官邸で政府主催全国都道府県知事会議が開催され、平山副知事が出席
- 26日 令和3年度山形県観光審議会を県庁で開催 「第2次おもてなし山形県観光計画～beyond2020～」の進捗状況や観光振興施策の展開について意見交換
- 26日 「やまがた森林ノミクス県民ミーティング」を、やまぎん県民ホール(山形市)を主会場に初開催 「森林の価値を考える、未来につながる魅力的な森林へ」をテーマに、Web会議でセミナー・フリートークを開催
- 28日 南陽市の吉野川の河川改修に伴い、架け替え工事を行ってきた国道13号の大橋の架け替え工事が完了し、渡り初め式を開催 平山副知事、白岩南陽市長等が参加し、同日から通行開始 平成25、26年の大雨被害を踏まえた、吉野川の橋梁架け替え工事が全て完了
- 29日 令和3年度12月補正予算案を県議会に説明 新型コロナへの対応、米価下落対策緊急支援、燃油・資材高騰対策緊急支援等について一般会計補正予算額12億3,700万円を計上
- 29日 県議会11月臨時会を開会 政務活動費の不正受給があったことを受けて、「山形県議会政治倫理向上対策検討委員会」を設置するとともに、「山形県政務活動費等検討委員会」で検討開始

- 30日 令和2年国勢調査人口等基本集計結果概要(山形県)を公表 県の総人口は1,068,027人(令和2年10月1日現在)で、平成27年調査と比較し、55,864人減少
- 30日 平山副知事は、秋田県、福島県、新潟県及び他関係自治体の首長等とともに、国土交通省、財務省、自由民主党に対して高速道路3路線の整備推進を図るため、東北中央自動車道、日本海沿岸東北自動車道、宮城・山形横断自動車国道建設促進同盟会の合同要望活動をオンラインで実施
- 30日 県庁で「山形県いじめ問題審議会」を開催 本県におけるいじめの現状やいじめ防止の取組みについて協議

12月

- 1日 新型コロナワクチンについて、県内における医療従事者等向け3回目接種が日本海総合病院を皮切りに開始
- 2日 県議会12月定例会が開会(～12/21)
- 2日 令和4年度当初予算の要求概要を公表 一般会計の予算要求規模7,146億円(前年度当初予算比4.7%増)
- 3日 県とJR東日本は、山形新幹線の機能強化の一環として、とれいゆつばさを活用して車内で仕事をしながら県内を訪れてもらう「やまがたワーケーション新幹線」を初めて運行 首都圏を中心に87人が参加
- 4日 主要地方道真室川鮭川線「栗谷沢橋」の架け替えが完了し、平山副知事など関係者が出席して開通式を開催
- 6日 ウイズコロナ・ポストコロナの山形県を展望するための資金・人材に関する懇談会を県庁で初開催 平山副知事、関係部長、県内金融機関・公的支援機関が参加し、本県経済の主に資金面・人材面に係る現況と対応について意見交換
- 6日 山形県青少年健全育成審議会を山形県私学会館(山形市)で開催 「山形県子ども・若者ビジョン」の進捗状況等について意見交換
- 9日 東北中央自動車道建設促進秋田・山形・福島三県議会協議会、日本海沿岸東北自動車道建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会、羽越・奥羽本線等高速化促進四県議会協議会(各協議会会長:坂本山形県議会議長)が、中山展宏国土交通副大臣や加藤鮎子国土交通大臣政務官らに対して要望活動を実施
- 11日 **東北中央自動車道の村山本飯田ICから大石田村山ICまでの4.5kmが開通** 平山副知事や地元自治体の首長、県選出国會議員ら関係者が出席して開通式典を開催 同区間は国道13号を利用した場合と比べ、所要時間が約1分短縮
- 15日 令和3年度12月補正予算案について県議会に追加提案 新型コロナの感染拡大防止及び地域経済活性化への対応、燃油・資材高騰対策緊急支援に係る経費等について一般会計総額33億5,300万円を計上

- 16日 県立最上学園における虐待事案(2021年2月公表)を受けての再発防止策検討会議の意見を踏まえ、再発防止策の強化について発表
- 17日 県は、新型コロナ第40回本部員会議を開催 政府方針に基づく新たな「注意・警戒レベル」を設定し、現在の状況を「レベル0【維持】」と決定 県内の飲食店等における「ワクチン・検査パッケージ制度」の登録、年末年始における注意喚起等について決定
- 18日 一般県道曲川新庄線「居口橋工区」が完成し、バイパス区間の全線が開通
- 24日 令和4年度政府予算案等が閣議決定 これを受け吉村知事は「今回の政府予算案については、これまでに本県が行ってきた政府への提案や、全国知事会を通じた要請の内容を概ね受け止めていただいたものと捉えております」とコメント
- 24日 農林水産省が令和2年農業産出額を発表 本県は2,508億円(前年比1.9%減)と6年ぶりに前年比減となり、全国順位は第13位(前年11位)、東北第3位(前年3位)
- 25日 県は、宮城県の養豚場で豚熱が確認されたことを受け、当該養豚場から山形県内の養豚場に移入された繁殖豚等26頭が疑似患畜と確定したことを発表 県は、同日、豚熱対策本部を設置し初会合を開催 25日のうちに2農場計26頭の殺処分・埋却処分等の全ての防疫措置を完了
- 27日 **阪神タイガース中野拓夢選手に山形県スポーツ特別賞を平山副知事から贈呈 県庁で授賞式を挙行 同賞は福岡ソフトバンクホークス長谷川勇也選手に続き4例目**
- 27日 米価下落を受け、米農家の営農意欲の維持・向上に向けた給付金制度「稲作経営緊急応援事業」を創設
- 28日 吉村知事が退院
- 31日 県内における新型コロナの確認事例について、県内で初めてとなるオミクロン型変異株の感染を確認

作成 令和4年3月30日
山形県総務部広報広聴推進課
山形市松波二丁目8番1号
電話番号 023(630)2088